

会員各位へ 会員増強運動へのご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます

平素は、当会の事業運営に格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当会では会員各位のご理解、ご協力を賜りつつ、鋭意会員増強運動に取り組んでおります。

しかしながら、昨年度は年度末の会員数が対前年度比143社減の2,997社で、加入率32.3%となりました。

改めて申し上げるまでもなく、当会が公益社団法人として中区の企業・地域社会のさらなる発展に貢献してまいりますためには、法人会活動のバロメーターである会員数の維持・拡大による組織強化が不可欠になっております。

事務局では、本年度も引き続き新入会員の確保や退会防止に努め会員数の増加を目指して会員増強運動に取り組んでおります。

つきましては、会員各位には引き続き会員増強運動の実施に格別のご理解を賜り、会員勧誘の候補先をご紹介いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具



公益社団法人 名古屋中法人会
会長 岡谷 篤一

《会員勧誘候補先のご連絡について》

会員勧誘候補先に関しましては、下記の用紙を事務局宛の
FAX番号にてご連絡くださいますようお願い申し上げます。

公益社団法人 名古屋中法人会 事務局
名古屋市中区栄四丁目3-26 昭和ビル3階 FAX 052-242-9429 電話 052-242-9427

法人会は社長の“やる気”をサポートします。



《法人会の事業活動とメリット》

- ◎税のオピニオンリーダーとしての税制提言活動
- ◎最新の地域・世界経済などの講演会によって、自社の経営戦略を図る
- ◎環境や福祉など、地域に密着した社会貢献活動による企業ブランドの向上を目指す
- ◎さまざまな異業種の経営者と出会い、ビジネスチャンスにつながる交流会
- ◎法人会独自のお得な各種の福利厚生制度で、自社の企業リスクをカバーする
- ◎税知識が身につく研修会や子どもたちへの租税教育活動

これらのほかに、法人会は様々な活動で企業を支援し、国と地域の発展に努めています。
ぜひ、みなさんの仲間を誘って、税の知識を活かし、一歩先の経営を目指しましょう！

会員増強推進運動実施中!!



会員勧誘候補先 通知書

貴社・団体名		
ご担当者	役職名	お名前
	勧誘候補先について、お問い合わせさせていただくことがございますのでご記入ください。	
ご連絡先	電話	FAX

ご紹介いただける勧誘候補先

会社・団体名		
所在地	中区以外の勧誘候補先も受け付けております。	
連絡先窓口	役職名	お名前
連絡先電話番号		

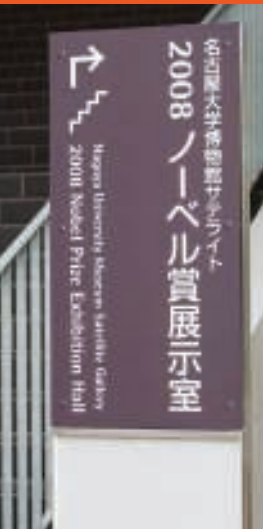
FAX 052-242-9429

公益社団法人 名古屋中法人会事務局 行



シリーズ
こだわり見学記

69



名古屋大学博物館サテライト 2008ノーベル賞展示室

名古屋大学には、ノーベル賞展示室のほか木曾駒の骨格標本・木曾の大ヒノキ・放散虫化石・日本最古の岩石の上麻生礫岩など貴重なコレクションを常設展示しています。

2008ノーベル賞展示室は、益川敏英博士、小林誠博士の2008ノーベル物理学賞、下村脩博士の2008ノーベル科学賞を記念して、3人の博士が学んだ名古屋大学理学部の歴史、ノーベル賞受賞の対象となった研究とノーベル賞について紹介しています。





理学はおもしろい！

宇宙から身近な生物まで、理学は自然に関する最も基本的な学問分野で、未解明のおもしろいことが一杯あります。

高校や中学の理科は、物理、化学、生物、地学に区分されていますが、理学は本来こうした区分はなく、相互に深く関係しています。

理学の研究では自然全体をよく見て考え、「自然に学ぶ＝自然から教えてもらう」という

スタンスが大切です。

名古屋大学には、自由な雰囲気の中で理学を学ぶ気風・伝統があります。その例が益川・小林・下村博士というノーベル賞学者を生み出した坂田スクール、平田スクール（フグ毒「テトロドトキシン」の研究者 1915-2000）での研究です。



◀坂田昌一教室

坂田 昌一（1911-1970）名古屋大学理学部教授

研究の上では教員も学生も対等という自由な雰囲気教育方針は、1946年に制定された物理学教室憲章の基礎となりました。

ノーベル賞学者の益川博士と小林博士は、この坂田スクールで学びました。



若者よ！ 「憧れとロマン」をもて

名古屋大学 素粒子宇宙起源研究機構長

益川 敏英氏

(2008年ノーベル物理学賞受賞)

取材日時／平成28年9月27日(火)13：00～ 取材場所／名古屋大学東山キャンパス ES総合館7階 ききて／中山智雄・正木利和・岩田加津子・清水正彌





科学者への道

——お生まれについてお聞かせください。

生まれたのは中川区月島町です。子どものときに住んでいた家が、今も取り壊されもせず幽霊屋敷のように生き残っています。

親父は洋家具の職人でした。ウソか本当か、「俺が造った家具は名古屋で一番高く売れる」と自慢していました（笑）。でも左甚五郎みたいに名人芸ではなく、必死になって造って、でも気に食わないと壊していましたね。職人が「親父さん見てくれ」と持ってきてても気に食わないとノミでガンと壊すのです。

——生まれた翌年に太平洋戦争が始まったそうですが、幼年時代の思い出はありますか。

戦争が激しくなってきて、金属類はみんな徴収されるようになり、親父がもっていた電動ノコとかカンナも徴収され商売がやれなくなり、それで三菱の軍需工場に働きに行っていました。

戦闘機は飛び上がるときに一番エネルギーが要るわけですから、飛び上がって海の上で上昇するように翼を勘考します。その翼を親父が一人で作るとベニヤ板を湯の中で曲げてニカワで貼りつけて1週間ほどかかるのですが、「アメリカはジュラルミンで1秒に1個造れる。こんなことでは戦争に勝てるわけがない」と親父は言っていました。

祖母が鶴舞公園の近くに住んでいましたから、その近くに引っ越しました。鶴舞公園の東の端は高射砲陣地です。米軍が来ると迎え撃つのだけれど、日本の高射砲は7千メートルほどしか届かないのに、B29は1万メートル上空です。だから歓迎の花火をあげているようなものです。

高射砲陣地があるので爆弾が落ち、みんな丸焼けになりましたが、我が家は焼夷弾が2階の屋根を貫通して1階の土間まで落ちてきたけれど不発弾でしたので、僕は助かりました。

戦後、近くに鶴舞小学校ができて、高射砲陣地の砲身は

子どものいいおもちゃになって、遊び場所でした。

——お父様からの影響が科学者への道へと繋がったのですか。

電気技師になりたかったらしいのですが、まともな教育を受けていなかったから断念するのですが、へんてこな知識をもっていましたね。

「月食はなぜ毎月起こらないか？」と親父に聞かれ「わからない」と答えるとおもむろに「月が地球を回っている平面と、地球が太陽の周りを回っている平面が5度ずれているから」と自慢げに話をするのです。どこで知ったのか、5度ということも知っていましたね。

戦後は家庭にお風呂はありませんでしたから、暗い夜道で月明かりのなか銭湯に通うわけです。そのときに「なぜ月食は毎月起こらないか？」とか「モーターはなぜ動くか」とか、そういう会話をしていました。お陰で、学校で先生が勉強を脱線してそういう質問を生徒にすると自分だけ対応できたので、理科や算数はできると錯覚を起こしていました。

新しい教科書をもらうと前もって読んでいました。

もうひとつ、5年のときに戦争で焼けてしまった鶴舞図書館が新しくできたのです。それで先生がクラスのメンバーを7人ほどの班に分けてテーマを与えて報告させるグループ学習をさせたのです。そのときのテーマは忘れましたが、小学校の調べ物ですから10分もすれば調べ終えます。残りの時間は、本がたくさんあるなぁと館内を探検して廻るのですが、選んだ本を抜き出すときに期待感で手が震えたことを憶えています。

それ以来、本は好きになりました。

実際に中学校2年生のとき図書委員に立候補して図書係になりました。そうしたら好きな本を一番に読めるのです。図書係になると痛んだ本の修復をしますから、僕は製本の技術をもっています。少し厚い本は背表紙を膨らまさなければ開かない。こうやってやるのだと先生から、これまでの伝統の修復の技術を教えてもらったのです。



宇宙の果ては落語の世界

——本を買うのが好きだそうですね。

中学校3年の頃から古本屋巡りが好きになりました。

その頃は親父が砂糖屋をやっている、キューバ糖は麻の袋に入っていて100キロ近くあるのですが担いで運びました。僕は体は小さいけれど力持ちなのです。

高校のとき、体力測定で懸垂をやられましたが、10回以上になると半数は止めてしまうのですが、僕は30回やって、他に誰もいなくなるので、この辺でやめとこうとなるのです。片手懸垂もできます。

それは自慢ではなくて、体が小さいからできるのです。

体重は縦横高さの三次元だけれど、筋肉は断面積に筋が何本入っていて変わりません。小さければ小さいほど効率が良くなります。アリは自分の30倍ほどのモノを運ぶと言うけれど、当たり前なのです。

しかし、僕がだんだん学術に近づいていくと、親父はだんだん離れていきました。中学の頃から夕食時になると親父は「跡を継げ」と言うのでよくケンカしました。大学を出たら継いでくれると思っていたらしいのですが、僕が大学院に入ったとき諦めて砂糖屋を廃業しました。砂糖屋は重たいものを一日2～3トン動かさなければならず、体力が要るんですね。

——宇宙の始まりは、最近の研究ではどのように捉えられていますか。

基本的には太陽系はだいたい解明されています。宇宙は137億光年の起源を持つ事が解明されているけど、そこには地獄も極楽もなく、平凡な宇宙が淡々と続いているだけです。

実際に、例えば星を望遠鏡で眺めていると、星は後退しているとスペクトルでわかります。また遠ざかっている星をスペクトルで見ると光の端が伸びて赤くみえるので、我々の宇宙は膨張していると最近言われるようになりました。

またスペクトルが3つあるとすると、波長の比率は全て同じです。人もこの世の中も全く同じもので宇宙はできて

いるとわかります。

——137億光年がもっと広がっているということですか。

宇宙の端はどこで、何があるか。それは我々から見たら宇宙誕生から137億光年までしか見えないけれど、その近くまで行って、「その外には何があるのですか？」と言ったら、さらに137億光年もの宇宙があります。こっけいな堂々巡りの落語の世界です（笑）。

卒業文集に「星の一生」

——素粒子の研究を始められたきっかけは？

僕は名古屋市に住んでいた、地元の名古屋大学の坂田昌一教授が今日のクォークモデルに繋がっていく研究をされていました。その当時たくさん素粒子が見つかったのですが、そのなかの3つが基本で、あとはそれらの組み合わせで作られているという「複合粒子モデル」を坂田教授が発表されました。高校1年のときだったと思います。僕は、それを知って舞い上がってしまって、それなら名古屋大学に入って、どうやって研究をされているのか見たいと思いました。先生に弟子入りしようというのではなくて、研究とはどうやってするものなのか知りたかったのです。それまでは何になるかさっぱり決めていなかったのですが、名古屋大学に進学する目標ができました。

——高校の頃から興味がありだったんですね。

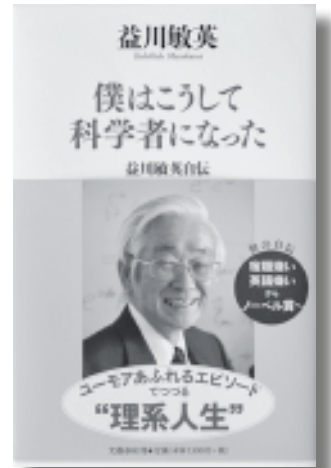
中学3年のときです。先生から原稿用紙を2枚渡されて、作文するように言われました。卒業記念文集でしたが、僕は授業を全然聴いてないので、自由作文だと思って、「星の一生」を書きました。ビックバンでできた星がそのまま燃え尽きてブラックホールになるものもあるけれど、太陽みたいな星だったら大爆発を起こして宇宙に散り、それが再び、何かの拍子に自己重力で集まって、第二世代の太陽ができます。第一世代は水素がヘリウムしかないけれど、第二世代の太陽は爆発したときに元素構成が行われるので、いろいろな元素を含んでいるのです。「我々の太陽は第二世代

Φ ψ λ ο σ ω φ ρ θ

2016.9.27

T. gkawa
(益川)

益川氏のロゴ。フィロソフィア=古代ギリシア語で「智（知）への愛」で、愛知出身の益川氏を象徴しています。フィロソフィー=哲学の語源。



文藝春秋 出版

の星だ」と子どもの科学雑誌で読んで感激して、僕だけ「星の一生」を卒業文集に書いたのです（笑）。

教育結果熱心ではだめです

——日本の教育について、一言お願いします。

10年ほど前、朝日新聞のコラムに載っていたのですが、「コップに水を半分入れ、コップを横に傾けたら水面はどうなるでしょうか」などの問題を小中高生に出したそうです。小学生はいろいろ考えますが、受験テクニックを教えられている高校生は、今まで見たこともない問題・分からない問題はスキップして解こうとしません。いまの「教育」は、高得点を取るためのテクニックを教える「教育結果熱心」になっているという記事でした。

本来、勉強とは解くために試行錯誤していろいろ考えることです。答えが間違っているとしても、どうやって考えたのか、途中経過が大切です。

ある試験のとき、途中までやって先がわからなくなると「よって上記命題は証明された」と書いてありました。面白いですよ（笑）。

——若者たち、子どもたちへのメッセージをお願いします。

僕は生きていくのに大切なことは、基本的には「憧れとロマン」だと思います。例えば天才アインシュタインは相対性理論で、走っている人と止まっている人と時計の進み方が違うと言っている。そんなバカなと思う。しかし世間一般の科学者がそれに反対していないのは、それを信じなければいけない理由があると思う。そうするとそれを知りたいと近づいていくわけです。そうやってドン・キホーテではないけれど、知りたいと思って旅に出て失敗を繰り返しながら成長するのだと思います。

——何か健康のためにしておられますか。

健康法はないです。悪いことばかりやっています（笑）。酒は飲むし……。

——適度のお酒は百薬の長と言いますから、よろしいので

はありませんか。

多少飲み過ぎているのです（笑）。特に意味があるわけではないですが、赤ワインなら体にいいからと女房から許可があるので、その考えを利用させてもらっています（笑）。

最近は醸造技術が進んで焼酎も美味しいですね。昔は、焼酎は酸化しすぎて酸っぱかったです。親父は、それに重曹を入れて中和して飲んでいました。

——ノーベル賞授賞式会場はいかがでしたか。

王様から渡された賞状とメダルは授賞式後に1回戻し、会食後の会場の中二階に賞状が並べられます。というのも賞状に描かれた絵が1枚1枚違うので皆様が見られるように展示されるのです。

翌日ノーベル財団の事務局に賞状とメダルを貰いに行ったとき、2つ並べてあって、「どちらが本物と思うか？」と聞かれました。僕はサッと取って「重たいからこちら」と言いましたが、ほとんどの人は一生懸命に眺めているんですって（笑）。

——本物のほうが重いのですか。

金ですからね。

——奥様とお二人で出席されましたね。

外国旅行は初めてでした。それからはモンゴルへ行きまして、中国へは3回行きました。1回は学術会議に3日出席して、残りは敦煌など3週間ほど周遊、「一杯また一杯」と李白の船下りの真似事もしてきました。

——先生もユーモアがおありですが、奥様も「何か飼っておられますか」と記者に聞かれ、「猫3匹と人間もひとり飼っています」とお答えになったそうですね。

うちのことを何もやらないものですから。

たまに女房に言われて猫の缶詰を買いに行くのですが、ホームセンターには、子猫用、中年用、老年用、肥満猫用とか本当にいろいろな種類が並んでいて驚きます。うちの猫は20年ちょっと生きていましたね。

——今日は楽しいお話をありがとうございました。これからも益々活躍されるよう祈念しています。

なごやヤングジャズフェスティバル

日時／平成28年9月22日(木・祝) 13:30～15:30 会場／中電ホール 出演者／高校生ビッグバンド フリーフィلزジャズオーケストラ 小中学生ビッグバンド

次世代につなげる幹を育てよう

平成26年に始まったなごやヤングジャズフェスティバルは、今年で3回目の開催となった。

名古屋とその近郊の青少年によるジャズオーケストラは、学校に所属しないジャズ好きな子どもたちが集うビッグバンド。限られた練習時間にあっても、その実力は全国一を誇っている。

ステージでは、進学で退会するメンバーが一人ひとり感謝の言葉と最後の演奏に励んでいた。

女性部会の活動テーマ「次世代につなげる幹を育てよう」を表す企画に会場は満席の盛況となった。



法人会への加入を呼びかける女性部会の皆様



主催者あいさつ 加藤 あつこ部会長



司会 村瀬 正樹氏



受付 女性部会の皆様



リトルフリーフィルズジャズオーケストラ ゲスト/トロンボーン奏者 中川 英二郎氏



トロンボーン奏者 中川 英二郎氏



名古屋中税務署幹部の皆様

女性部会新緑税務研修会

「消費税 はじめての軽減税率!」& 「伊勢物語」一人語り

日時/6月9日(木)11:00~ 会場/梅の花

講師/名古屋中税務署 法人課税第一部門 統括国税調査官 広 勝巳氏



講師 広 勝巳氏



伊勢名物せんべい
「絲印煎餅」



会場 梅の花

本日の講演は、当然、軽減税率制度が導入されるということで、その細かい説明をわかりやすく、丁寧に指導いただくといい、皆が身構えておりました。

広様も、当然その資料を持参するつもりでいらっしゃったと思います。ところが、突然、消費税の話は引き延ばしということで、本日の講演の内容が変わってしまいました。

私どもといたしましては、大変楽しい内容へと変わり楽しい一時でした。広様のふるさとである伊勢神宮のありがたいお話でした。いつも参拝している内宮・外宮ですが、まだまだ私達の知らない情報も多くお話くださり、大変に意義ある一時を過ごさせて頂きました。

最後には、伊勢の名物せんべいも皆様に振る舞って頂き、心温まりました。

report: 広報委員 舟橋 幸江

訂正して、お詫びします

▲夏号40ページにある初春の健康講座の「report森田英津子」とあるのは「酒井恵美子」の誤りでした。